

2022年1月20日 第406号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 「19日」行動に600人

敵基地攻撃能力の保有ではなく、平和外交を行え！

憲法9条改憲許すな！市民運動強め、改憲発議させない！

総がかり行動実行委員会は1月19日夜、「改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！敵基地攻撃能力保有反対！防衛予算拡大するな！いのちと暮らしと営業を守れ！1・19国会議員会館前行動」を行い、寒い中600人が参加しました。岸田首相は17日の施政方針演説でも敵基地攻撃能力の検討や改憲議論を進めていくこと表明しました。たたかいは正念場。宣伝・学習を強め、改憲発議を阻止しましょう。沖縄の風の伊波洋一参議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員、立憲民主党の山岸一生衆議院議員、社会民主党の新垣クニオ衆議院議員、れいわ新選組の大石あきこ衆議院議員があいさつしました。

憲法共同センター共同代表の小田川義和さんが主催者あいさつを行い、「米軍基地が原因でコロナの感染が広がった。日米地位協定のもとで原因を野放してきた岸田首相の責任は重大だ。敵基地攻撃能力の保有は、戦争をするために武器を持って何が悪いかという開き直りであり、そのために憲法9条の改憲をすすめるようとしている。こうした横暴に対抗するには市民運動の力以外にはない。署名を軸に学習・宣伝を強めよう」と訴えました。



市民連合の長尾詩子弁護士は、「勤めている法律事務所でもフードバンクに取り組んでいる。20～30代の女性が小さな子どもを連れて、両手いっぱい支援物資を持って行った姿を見て胸が詰まった。女性や子どもの自殺が増えている。生活を心配しないで済む社会、コロナにかかっても治療ができる社会、明日に希望が持てる社会にするため、政治を変えなければならない」と訴えました。

女性による女性のための相談会の吉祥眞佐緒(よしざきまさお)さんは、「相談会を4日間行ったが、生活が破たんしている人の相談、失業し健康保険証がなく病院に行けないなど医療相談が多か

った。元々あった女性の問題が顕在化した。女性の人権がおろそかにされており、憲法が守られていない」と実態を報告しました。

藤沢九条の会の島田啓子さんは、「会は今年、結成 17 周年を迎えた。若い人に受け取ってもらうため、チラシなど工夫している。戦争しない平和な国を若い人たちにつなげたいと成人式会場前で宣伝した。学術会議会委員任命問題ではスタンディングを 172 回続けている」など取り組みを紹介しました。

戦争をさせない 1000 人委員会の北村智之さんが行動提起を行いました。

●東京 池袋駅東口で 19 日行動



憲法東京共同センターは1月 19 日昼、池袋駅東口で「19 日」行動を行い、7 団体 12 人が参加しました。

●お知らせ 憲法リーフ作成中

憲法共同センターでは、学習や宣伝をすすめる資料として「憲法リーフ」を作成中です。2月上旬頃から発送を開始する予定です。申し込み方法などについては、憲法共同センターのホームページに掲載しますのでご確認ください。

当面の行動

- 1月 20 日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18 時～ 新宿駅西口
- 1月 23 日(日) 総がかり行動 とめよう改憲!学習講演会 13 時 45 分～ 日本教育会館ホール
- 1月 27 日(木) 安保法制違憲訴訟 勝利をめざす集会 18 時 30 分～ 日本教育会館ホール
- 2月 3 日(木) 法律家 6 団体主催 総がかり行動共催 自民党改憲を許さないキックオフ院内集会 18 時～ 衆議院第 1 議員会館大会議室+オンライン
- 2月 9 日(水) 憲法共同センター 9 の日宣伝 12 時～ 新宿駅西口
- 2月 19 日(土) 総がかり行動 19 日行動 14 時～ 国会議員会館前
- 2月 22 日(火) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18 時～ 有楽町イトシア前